

4年 保護者会資料

1 今年度の学年の様子 (2分ほどです)

- ・自治を行うことができるよう、認めたり課題を与えたりして一年間を過ごしてきた。両学級ともに、一定程度の自治ができるようになってきたが、今後はさらに高いレベルが求められる。
- ・必ず毎日トラブルが起きるという学級もあった。自己中心的な視点から脱却できずにいる児童には、「トラブルを回避するために必要な言動や考え方」の指導を継続している。生活力(具体的には身の回りの整理整頓・教室移動の際の準備・静かにすべき場面での私語・清掃や給食の当番など)の二極化が非常に激しく、広い視野をもって活動できる児童が疲れてしまい、学校生活に悩む様子も見られた。
- ・診断テストのデータを見ると、400点満点の中央値は320点程だが、平均点となると260点程度まで下がる。学年の学力の二極化が非常に激しいため、授業の工夫や家庭学習のやり方に力を入れて指導した。

2 学習・生活面 (10分ほどです)

国語・・・○物語文、説明文などを読むことを肯定的に捉える児童が多い。

○まとめる、要約するといった学習活動を経験し、力を伸ばした児童が多い。

×毎日の積み重ねである漢字学習は、継続して安定した力を発揮する子と、テスト前に急ピッチで準備をし定着に課題がある児童とで差が出ているため、今後も指導が必要。

×音読・日記を継続した子とそうではない子との間で書く力・話す力に差が出ているため、次の学年では継続の重要性を繰り返し指導する必要がある。

算数・・・○「間違っているかもしれないから」ということを気にして発表を控える子が減った。

○「他にも方法があるかもしれない」という考え方をする子が増えた。

○式のみではなく、図や言葉を使って考えると分かりやすいということを知った子が増えた。

×計算ドリルは一度やって終わりではなく、制限時間を徐々に減らしながら複数回挑戦するものだと理解していない子が依然として多い。

×基本的な四則計算の正確さや解くスピードについて、1～2年時の学習に遡って練習した方が良いという様子が見られる子も少なくないため、個別のサポート課題等について家庭と相談が必要。

×単位の付け忘れや問題の読み間違いなど、テストの見直し技術については今後も全体へ指導が必要。

社会・・・○たくさんの意見を出し、可能性が少しでもあると思ったら発言するという姿勢が身に付いてきた。

理科 ○図・写真・グラフを用いながらまとめを作る力を伸ばした子が多い。

○資料から読み取る力を伸ばした児童が多い。

×提出すべき課題を直前になって仕上げようとする子も見られるため今後も指導が必要。

×タブレットの充電をせずに授業に臨んでしまい、学習効果が下がってしまうケースが多く見られた。必ず充電するという習慣を今後も全体へ指導する必要がある。

生活・・・○両学級ともに、一定程度の自治ができるようになってきた。

×保護者や教員がいなければ騒いだりルールを破ったりしやすい児童が学年の30%程存在している。

×トラブルになる前に解決できるものもトラブルに発展させてしまう傾向が見られる。相手への思いやりや自制心に欠ける行動が原因となっている。

3 5年生の見通し(10分ほどです)

移動教室	<ul style="list-style-type: none">・ 2泊3日で実施予定です。・「ベルデ少年自然の家」という練馬区の宿泊施設に泊まるため、テントや寝袋は不要です。・ 宿舎代がかからずバスの借り上げ費は区が負担するため、費用は例年 4000～5000 円程度。・ お小遣いは多くても 2000 円程度にすることが多いです。・ 服用する必要がある薬や食物アレルギーなどについては事前に相談する機会があります。
行事(運動会等)	・ 実施の方向で計画中です。
国語	大造じいさんとガン、わらぐつの中の神様(ご自身が学習されたという方もいらっしゃるでしょう。)説明文、漢語和語外来語、 敬語 、意見文、漢字など
算数	単位量あたりの大きさ、割合、分数の割り算(これらの単元には特に要注意です。) 【例題】(単位量あたりの大きさ) 100 グラム 98 円のお肉と、400 グラムで 389 円のお肉とではどちらが安く買えますか? →複数の解き方で考えます。(同じ値段・量なら、1 グラムあたり、1 円あたり)
社会	日本の地理(緯度と経度、時差、農業、水産業、工業、林業、雨温図、公害、自給率、貿易摩擦など) ※4年生までの数倍の量 を一年間で学習すると考えてください。 毎日の復習は必須 です。ここで単元ごとに知識を整理する力を身に付けると、6年生の歴史の学習で時代ごとに知識をまとめることができるようになります。
理科	天気、台風、植物の発芽条件、生命の誕生、電磁石、水溶液、ふりこ、流れる水の働き ※植物の発芽条件は、「3つの要素があるうち、一つ一つ必要か否か検証するにはどうすればよいか」という問題の正答率が例年低い傾向にあります。社会と同じく4年までの分量の数倍のボリューム があります。毎日の復習と単元ごとの知識整理が必要です。
外国語	教科の扱いとなるため、 テスト が行われ3段階での評価がつくようになります。 リスニング 問題が非常に多く、暗記した単語を書くといった問題は出題されません。
家庭科	調理実習、裁縫実習 があります。裁縫セットは、私たちが子供の頃に使った「箱型」よりも、小さなセカンドバッグのようなものが増えてきています。調理実習時に扱う食材は、食物アレルギーがある児童に配慮して安全を最優先にして行います。
体育・音楽・図画工作	さらにできるようになることが増え、この3教科を楽しみにして生活する子は5年生になっても多いです。
道徳	たくさん考え、たくさん 葛藤 し、 道徳性 を育てます。

※毎日の家庭学習時間の目安は 60 分～程度です。「60 分勉強すればよい」ではなく、「集中してすべきことをきちんと理解して終わらせるとしたら最低でもこれくらいかかる」というのがこの時間です。

4 おわりに

一年間、ありがとうございました。皆さまと子供たちが、来年も充実した一年を過ごせますように！！

5 番外編「小6学力テストってなに？」渡邊(10分ほどです)

6 番外編「★保護者アンケート 結果のご報告★」小田(10分ほどです)